

郡奉行中

宿曜道

〔源氏物語譯十四〕すくえうに、みこ三人、みかど泉冷きさき中宮明石かならずならびて生れ給へし、中霧のをとり夕は、太政大臣にて、くらゐをきはむべしとかんがへ申たりし、

〔鶴岡放生會職人歌合〕左

くもりなく星のやどりは見しかども月の命も捨がたきかな

うき人のむまれの月日問きけんけふあひがたき事やみゆると

宿曜師

〔篋篋内傳五〕文殊曜宿經事

夫以、曜者過去七佛全體也、故所謂七曜者、不欲上界樂、不染下界塵、不垢不淨而天真獨朗之相也、不掛生死、不住涅槃、色心已究竟、厥相更罔滅、周遍法界、三世明了、中問曰、七曜已行度二十八宿何謂乎、答曰、過去七佛、法華二十八品、開題番々修行道理也、爰知一切衆生、咸是過去七佛所成也、然二十八宿配當一年三百六十日、以生日宿可顯一期吉凶者也、爰有命業胎三宿、此經肝文也、逢明師傳之問曰、以何宿爲命業胎耶、答曰、以生日宿爲命宿、自命宿當十爲業宿、自業宿當十爲胎宿、然二十八宿內、除牛宿勸之、若人前生宿因拙、惡宿生合、則依愛染明王法、退七曜凌逼難者也、日光顯現諸星陰沒之道理也、

〔宿曜經〕宿曜經序三九秘宿品第三

一九之法 命榮衰安危成壞友親

二九之法 業榮衰安危成壞友親

三九之法 胎榮衰安危成懷友親

此法皆以所生日直宿爲命、卽以命宿爲第一、以次榮宿、又次衰宿、及安危成壞友親、如是九宿爲一